

雲仙岳の火山活動解説資料(平成20年9月)

福岡管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成19年12月1日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

9月の活動概況

- ・噴煙など表面現象の状況(図2)
噴煙は白色、ごく少量で高さの最高は20mと低調に経過しました。
- ・地震や微動の発生状況(図2、図3)
火山性地震の発生は3回(8月:3回)と少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況(図1、図4)
GPS連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

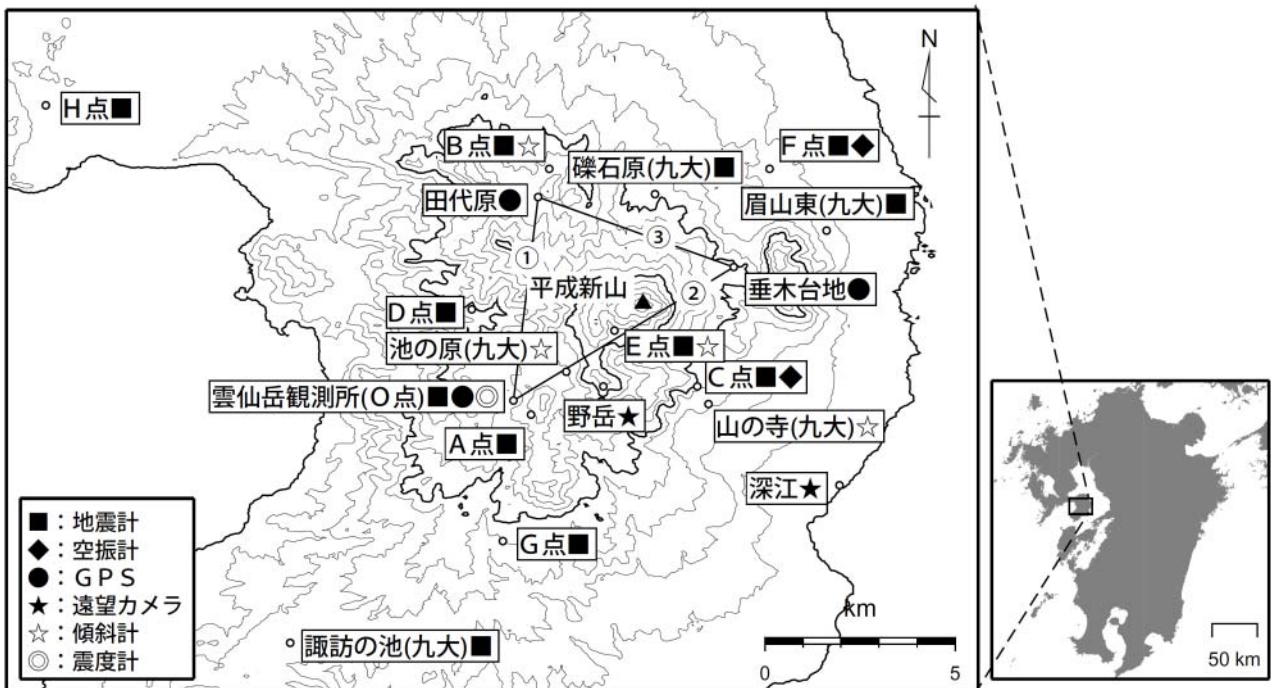


図1 雲仙岳 観測点配置図

この資料の作成に当たっては、気象庁のデータその他、九州大学のデータを使用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区气象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成20年10月分)は平成20年11月7日に発表予定です。

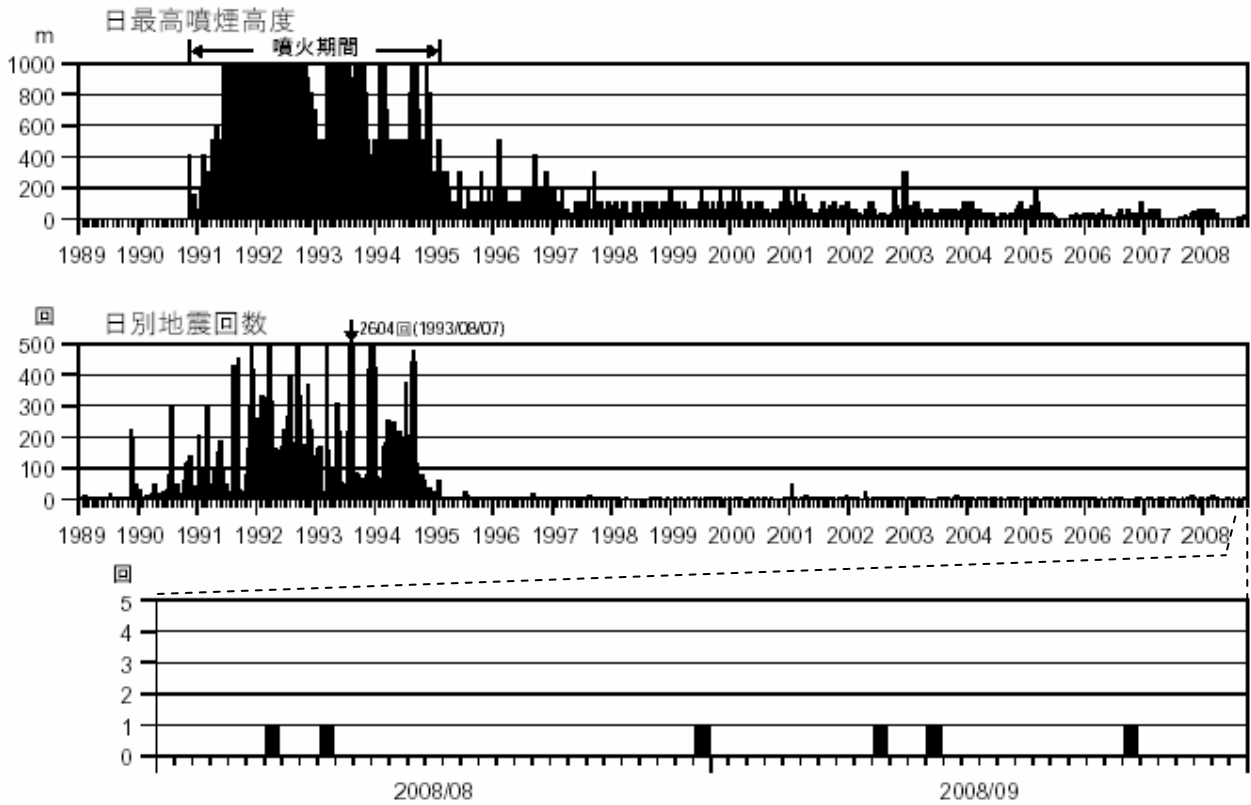


図2 雲仙岳 火山活動経過図（1989年1月～2008年9月）

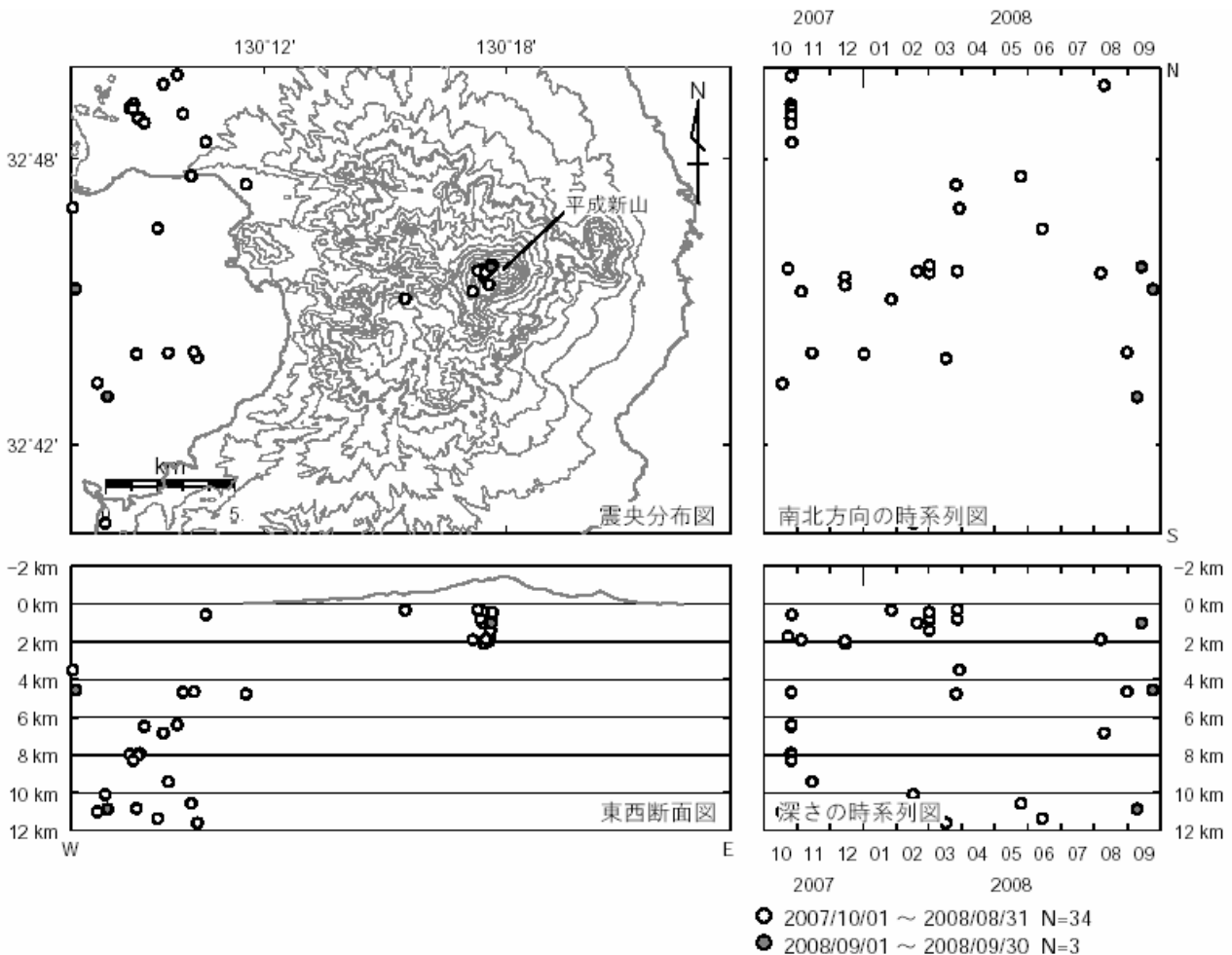


図3 雲仙岳 震源分布図（2007年10月～2008年9月）

今期間求まった震源は、これまでも発生している平成新山直下と橘湾 に分布しました。

雲仙岳

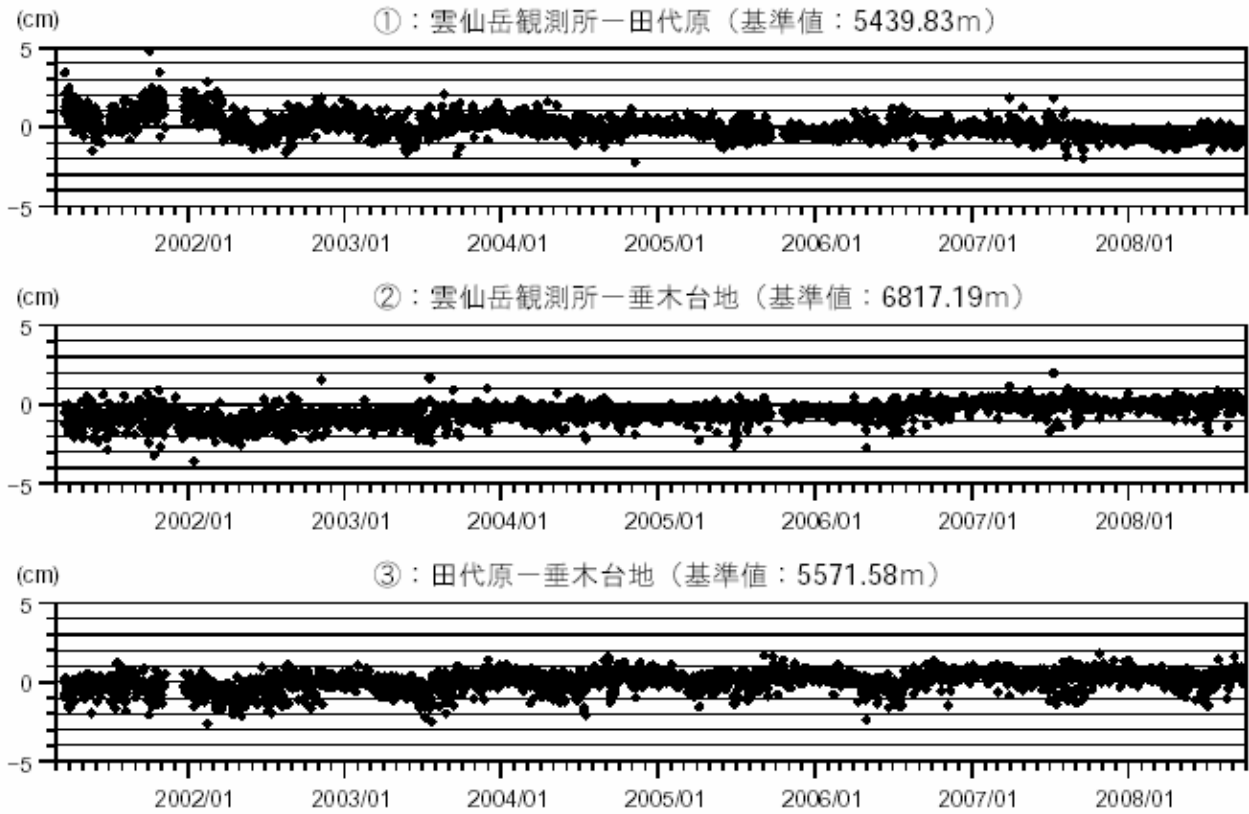


図4 雲仙岳 GPS連続観測による基線長変化(2001年3月20日~2008年9月30日)
火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。